

月刊

軽音楽部

発行：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会 配布：全国2,040校の高等学校軽音楽部



写真は第4回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会でグランプリを受賞した神奈川県立相模原高等学校のせんとらです

2024

7

VOL.76

なるべく直接的に教えない部活動運営 長出泰典

石川県高等学校文化連盟合唱専門部理事（軽音楽）／金沢学院大学附属高等学校 軽音楽部顧問

「自分づくり」を軸に据えた活動 森田啓之

兵庫教育大学大学院生活・健康・情報系教育コース 教授／日本部活動学会 副会長

生徒の意見や多様性を尊重した活動 又川寛生

神奈川県立相模原高等学校 軽音楽部 顧問

軽音楽部にもマネジメントの発想を…

これまでにない未常識な部活動を目指して…／部活動の大会としての審査基準
アンサンブルが良くなる指導方法／軽音協イベント・カレンダー／活動ブログ

次号は7月25日発行



月刊 軽音楽部
バックナンバー
はこちら



軽音楽部員必見
デジタル版記事
はこちら

目標に向かって、チャレンジしよう！

第8回
高等学校軽音楽コンテスト
近畿北陸大会

2024 7.31 WED 入場無料 会場：舞鶴市総合文化会館大ホール
10:00-17:00 京都府舞鶴市字浜2021

主催：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会／公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団

後援（協賛）：文化庁・京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、和歌山県教育委員会、奈良県教育委員会、徳島県教育委員会、高知県教育委員会、香川県教育委員会、愛媛県教育委員会、福岡県教育委員会、佐賀県教育委員会、大分県教育委員会、熊本県教育委員会、鹿児島県教育委員会、沖縄県教育委員会

第10回
高等学校軽音楽コンテスト
中部大会

2024 8.3 SAT 入場無料 会場：愛三文化会館
12:00-18:30 もちのきホール
愛知県大府市明成町1-330

主催：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会／公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団

後援（協賛）：文化庁・愛知県高等学校文化連盟、愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、静岡県教育委員会、三重県教育委員会、滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、徳島県教育委員会、高知県教育委員会、香川県教育委員会、愛媛県教育委員会、福岡県教育委員会、佐賀県教育委員会、大分県教育委員会、熊本県教育委員会、鹿児島県教育委員会、沖縄県教育委員会

第5回
高等学校軽音楽コンテスト
関東大会

2024 8.25 SUN 入場無料 会場：国立オリンピック記念青少年
10:00-18:30 総合センター 大ホール
東京都渋谷区代々木神園町3-1

主催：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会／公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団

後援（協賛）：文化庁・日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、専門学校東京ビジュアルアーツ、ギブソン・フランス・ジャパン株式会社

第2回 全国高等学校軽音楽部
オリジナルソング・グランプリ

応募締切 8/31(土)



特定非営利活動法人（NPO法人）
全国学校軽音楽部協会

それぞれの大会の実施要項は
ホームページをご覧ください

全国の中高大学校の 軽音楽部を支援する協会

現在、全国の高等学校では軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは、軽音楽部が学校教育の一環として、「自主性」や「責任感」の伴う活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション（意思伝達）」「クリエイティビティ（創造力）」「チームワーク（協働）」「エンターテインメント（顧客満足）」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動であると認知されてきたからだと思います。私たちは、情報誌の発行、大会や合同演奏会の開催、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。

Mission ～理念～

軽音楽部の諸活動を通して若い人材を育てる

Vision ～目標～

1 軽音楽部の学校内外における認知向上を図る
部活動としての歴史が浅い軽音楽部は、偏見もあり一般的に正しい認知が低いのが現状です。軽音楽を通じた部活動の有意義さを学校内外へ広めていきます

2 社会や地域貢献を視野に入れた部活動の提案
軽音楽部の活動範囲は、日々の練習や演奏会出演、大会への参加だけにとどまらず、地域や行政とのつながりを生みます。軽音楽部の活動を通じた社会貢献を応援します

3 生徒による自主、自律した部活動運営の支援
グローバルな視点からの上位下達ではなく自主的に動ける人間、これからの日本社会が必要とする自律した人間育成を目的とした部活動運営の支援をします

ご支援いただいている特別賛助会員の皆様（敬称略／順不同）

株式会社ミュージックネットワーク	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団	ギブソン・ブランド・ジャパン株式会社
一般社団法人サトヤマカイギ	フェンダーミュージック株式会社
大阪音楽大学	有限会社エムエージー
名古屋芸術大学	株式会社トップトラベルサービス
宝塚大学	株式会社福々家（モアリゾート、ホテル寺尾温泉）
日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校	株式会社サウンドハウス
専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー	音楽ロッヂ ゆうげん荘
専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社オーティーズ
専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー	

特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会
keionkyo.org



月刊 軽音楽部 部活動としての軽音楽を考える

令和6年7月号 VOL.76

■月刊 軽音楽部 VOL.76 ■創刊：平成25年12月18日（水）■新創刊：令和6年3月25日（月）■発行：令和6年6月27日（木）／第13巻7号通巻76号
■監修・発行／特定非営利活動法人（NPO法人）全国学校軽音楽部協会 JASLMC（Japan Association of School Light Music Club）
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-37-6-405 TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900 E-Mail：info@keionkyo.org
■企画・編集／株式会社ミュージックネットワーク

interview



学校教育の視座

なるべく直接的に教えない部活動運営……4

金沢学院大学附属高等学校 軽音楽部 顧問 長出泰典



部活動を考える

「自分づくり」を軸に据えた活動……6

兵庫教育大学大学院生活・健康・情報系教育コース 教授 森田啓之
日本部活動学会 副会長



優勝校顧問に聞く

生徒の意見や多様性を尊重した活動……8

神奈川県立相模原高等学校 軽音楽部 顧問 又川寛生

contents

軽音楽部にもマネジメントの発想を……①	10
部活動の大会としての審査基準④	12
アンサンブルが良くなる指導方法④	13
これまでにない未常識な部活動を目指して……	14
写真で見る軽音協の活動ブログ	15
軽音協イベント・カレンダー	16

音楽／エンタメ業界の仕事 2024

宅録（プレイヤー目線） 日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校	20
テレビ／映像 専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー	22

From Chief-In-Editor

真、新、深、進、心…シン・軽音楽部

1ヶ月のご無沙汰です。高等学校の軽音楽部を紹介してもらい、1年後に無料配布の情報誌「DiGiRECO.JR」を発行したのが2013年、その後、NPO法人「全国学校軽音楽部協会」を設立したのが2018年ですので、「1万時間の法則」に倣うと、この10年でそこそこの経験を積んだと言えると思います。走りながら、いろいろなことを学ばせていただきましたが、ふと気がつく活動が2次元から3次元に、立体的に変化してきたと感じます。つまり、これまでは高校界限での平面座標での活動でしたが、ここ最近では上下の座標が加わり、3次元になってきました。例えば、去る6月9日（ロックの日）に、大学生による、大学生のための、大学の軽音楽系サークルの横の交流を図る「大学軽音楽連盟」を設立。各都道府県に大学生の運営による支部を配置、これまで高校生の領域だった協会の支援活動を大学まで広げました。また、関東圏、中部圏、近畿北陸圏で開催している軽音楽大会を国際レベルまで一気に拡張。8月に「国際大会」を舞鶴市と共催する運びになりました。さらに、昨年からは始まった石川県白山市白峰地区での「合同演奏会」は地元のお祭りに参加させていただくのではなく、「合同演奏会」を核にして、地元の方々と高校生との音

楽を通じた文化交流を図ることを主眼にしており、民謡保存会の方と高校生の民謡のセッションも行います。最後は、軽音楽大会への来賓として文部科学省の政務官や文化庁の参事官に来ていただく機会が増えました。軽音楽部が認められ始めたということかな…と解釈しております。次は…芸術文化活動である軽音楽部の活動目標が順位付けのコンテストで良いのかという大きなテーマへの取り組みです。

これからも新しいチャレンジを続ける全国学校軽音楽部協会…シン・軽音協をよろしく願います。



三谷佳之

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 理事長

Email mitani@keionkyo.org
Facebook yoshiyuki.mitani
Instagram mitani.yoshiyuki
X (Twitter) @mitaniyoshiyuki

学校教育の視座

指導する際は先輩のフィルターを通すこと。顧問の役割は「人と物」を管理することである

なるべく直接的に教えない部活動運営

長出泰典

石川県高等学校文化連盟合唱専門部理事（軽音楽）
金沢学院大学附属高等学校軽音楽部顧問

「文化部のインターハイ」と称される全国高等学校総合文化祭ですが、協賛部門である「軽音楽」は2027年度に石川県で開催される大会での開催を予定しています。今回は石川県で精力的に活動している学校の1つである、金沢学院大学附属高等学校の長出泰典先生にお話を伺い、部活動の運営から顧問の役割、総文祭への想いなどをお聞きしました。

同好会を経て、軽音楽部へと昇格

長出…私は小学校から高校までの12年間、相撲部に所属していました。高校まで相撲部を続けて、高校3年生の時にキャプテンも務めたんです。大学に進学後は空手道や吹奏楽、ジャズ研究会など、いくつかのサークルに参加し、いろいろとつまみ食いをして…という4年間を過ごしていました。

2006年度に金沢学院大学附属高等学校で採用となるのですが、その年に軽音楽同好会を立ち上げ、2年間の同好会期間を経て、2008年度に軽音楽部へと昇

格しました。最初の1年間は興味のある生徒たちが文化祭でバンド演奏をする程度だったのですが、「せっかくなら、もつと同好会つばいことをしてみようよ…」という話がキッカケで、部への昇格を目指して活動を始めたんです。2008年度から軽音楽部となり、今年度で16年目になります。

手取り足取りの技術指導はしない

長出…なるべく「直接的」に教えないようにしています。普段は上級生たちに「下級生が聞きに来たら、うまく伝授してやつてね」と伝えるだけにしており、技術指導も含めて「先輩」というフィルターを通して、3年生から2年生に、2年生から1年生に…という形を取るようになっています。一方で、「先生、これはどうしたら良いんですか？」と、生徒の方から顧問に質問があった場合は快く解決策を教えているのですが…（笑）。世話焼きのお節介さんのように、顧問の私から「あれだよ、これだよ…」という感じで、手

取り足取り指導するのは控えています。

本校では「個人練習」「合奏練習」「本番練習」という3つの段階に分けて活動しています。演奏会や大会などを間近に控えている段階：特に本番練習では、顧問が練習を見ようにしており、「アンサンブルはこうだよ」とか「アイコンタクトをする際は、こういう合図が良いよ」というアドバイスをするのですが、なるべく聞かれない限りは、技術的な指導は直接教えないようにしています。聞かれたら、喜んでマンツーマンレッスンをやるのですが…（笑）。生徒が自分たちで考えて、悩むというプロセスも必要だと思いますし、先輩に教えてもらったり、今はウェブサイトや動画サイトにも情報がたくさんありますので、演奏が上達しないわけがありません。

他に特筆する点として、普段の合奏練習では「課題曲」を設けており、部員全員で共有するようにしています。ポーカーからキーボードまで、各パートが記載されているバンドスコアを購入し、「今月

目ではないかと考え、取り組んでいます。

全国高等学校総合文化祭が2027年度に石川県で開催。軽音楽は「2023かごしま総文」以来の協賛部門大会

長出…ちやうど、この取材の2日前に会場候補の1つを視察してきました。茶道部や弁論部、演劇部といった他の部門の先生方や関係者の方々と一緒に見学し、客席や控室、会場内の動線をはじめ、交通の便やダイヤなどを調べ、会場の選定を行なっているところです。

それに関連して、石川県では、春と秋の年2回、講師の先生方を招いた「講習会」を開催しているのですが、今年度からアトラクションと称して「軽音楽部のための」準備体操」を取り入れるようにしました。ケガや事故を未然に防ぎ、ステージで最高の演奏を披露してもらうための準備体操です。実は「2023かごしま総文」や「紀の国わかやま総文2021」の交流会で実施されたものから影響を受けているのですが、テレビ番組の前説で新人のお笑い芸人さんがやりそうな「盛り上げ」をやってみたんです。すべてシナリオを顧問と生徒で考えて、ジョークを交えながら、手拍子をしたり、拳を突き上げたり、ヘドバンをしてみたらつたのですが、大ウケでした（笑）。ぜひ2027年度の全国総文でも準備体操を行い、全国各地から来ていただく高校生たちの緊張をほぐし、アットホームな雰囲気の大会にしたいと考えています。

の課題曲」という感じで、全員で取り組んでいるんです。

ユニークなところで言うと、今年度の1年生から「二刀流」にしました。「メインの楽器に加えて、何からしら別のパートの楽器も演奏できるようにしよう」と話しており、迷ってしまった場合はドラムを勧めています。早いうちからマルチプレイヤーになつて欲しいという思いがあるのと、向き・不向きがあるかもしれないのですが、いろいろな楽器に興味を持って、上達を志して欲しいと考えているんです。まだ1年生は入部したばかりなので、時間がかかると思いますが、二刀流ができると他の楽器パートの気持ちが変わると思いますし、意思疎通とかいうか、他のメンバーの理解やリスペクトにつながれば良いな…と考えて、取り組ませています。

顧問はリーダーでも、指導者でもない

長出…私は「人と物」を管理することだと考えています。「人」は部員たちのこと

合言葉を掲げ、一丸となって邁進

長出…本校としては「高校生として、成長しよう！」というのを第一に活動しています。また、「月刊 軽音楽部」の4月号から影響を受けているのですが（笑）、「部則を作ろう」という記事を読んで、今年度は3つの目標を作りました。「楽器ファースト」「ベストを尽くす」「上を目指す」という3つで、本校のスローガン：「部則」という風に大きく打ち出してしまうと、パツと思いつかばなくなるといけないので、「合言葉」としています（笑）。

私が高校の先生方にエールを送るような立場ではないのですが、学校さんごとに特長があつて、部員である高校生にも様々な特性があると思います。部全体が右肩上がりや波に乗っている時もあるけれど、低空飛行の状態もあると思うのですが、高校生が一生懸命に頑張る姿を応援してあげられたらな…と考えています。必ずしもステージ上である必要はなくて、音響や照明であつたり、ローディやステージスタッフ、司会役でも構わないので、それぞれのイベントや行事を大切に、軽音楽という部活動の明かりが大きくなるのを期待しています。石川県としては、2027年度の全国総文に向けて準備を進め、邁進していきたいと思っています。その折には、いろいろと他府県の先生方に教えを乞うたり、アドバイスをいただくこともあると思いますので、よろしくお願ひします。

インタビュー・三谷佳之



部活動は自分の意思で選択し、取り組むべきもの。顧問はバランス調整・プレーキ役である

部活動を考える

「自分づくり」を軸に
据えた活動

森田啓之

兵庫教育大学大学院生活・健康・情報系教育コース教授
日本部活動学会 副会長

森田啓之

筑波大学大学院修士課程修了。現在は母校である兵庫教育大学教授、日本部活動学会副会長、兵庫・体育スポーツ科学学会理事長等を務める。専門は体育・スポーツ原論（哲学）で、学校体育と地域スポーツの関係性を中心に探究している。

部活動は「学校教育の一環」と定義されている課外活動ですが、顧問の先生の役割をはじめ、部活動が果たす意義にはどんなものがあり、部活動の経験は将来、どのように役立つのでしょうか。そこで、今回は兵庫教育大学大学院生活・健康・情報系教育コースの教授であり、日本部活動学会副会長の森田啓之先生にお話を伺いました。

消去法で選んでもうまくいかない

森田…私の専門科目は、教科で言うと「保健体育」になります。教員養成系の大学に勤めているので、ベースにあるのは「学校の体育の授業をどう進めていくか？」というものです。専門としては、部活動を含めた、日本の学校体育やスポーツ文化（日本の体育）を研究しており、「体育原理」や「スポーツ哲学」というのが私の専門領域です。

私自身の部活動歴ですが、小学生の頃に少年団でソフトボールをやっていたこともあり、中学生になってからも野球をやりたいて考えていました。ところが、

入学したのが生徒数の多いマンモス学校で、おまけに野球部の強豪校だったこともあり、どう考えても、体の小さな自分が100名ほどの部員がいる野球部のレギュラーメンバーになれるというイメージが沸かなかったんです。レギュラーメンバーになれず、ベンチ外で「ウエー！」と大きな声を出している先輩たちの姿を目にして、2年後の自分が見えてしまった部分もあり（苦笑）、レギュラーになれるような他の種目を探すことにしました。

体が小さくて、背も低い人間ができるスポーツを消去法で選んでいくと、見つけたのが「卓球」だったんです。そんな理由で卓球部に入学したのですが、「どうしても卓球がやりたい！」といった願望はなく、消去法で選んだだけだったので、上達も遅いですし、当然のことながら、大会でも結果が出ないんですよ。レギュラーメンバーにはなれたのですが、チームの中では技術的に優れている方ではなく、その時の経験が私自身の「部活動観」に影響を与えている部分があります。

すべて自分で判断するのが部活動
過度に「人間づくり」と言い過ぎなこと

森田…授業も部活動も、どちらも「学校」という現場で行われるものですが、前者（授業）は自らが学ぶような仕掛けを先生が作ってくれて、基本的には与えられた素材（教材やテーマ）と与えられたやり方（学習方法）の中で進んでいくものだと思います。一方の部活動は「やる／やらない」も含めて、自分の意思でやりたいことを選択し、継続して取り組むという部分に大きな意義があるのではないのでしょうか。これは私自身の経験でもあるのですが、自分の弱さ・情けないところを認識したり、あるいは強さ・良いところを自覚したり、いろいろな葛藤がある中で、授業のように決められた課題をこなしていくのではなく、「すべて自分で判断する」というのが、部活動の本来的あるべき姿だと思います。

ですので、私はあまり「人間づくり、

顧問に専門的な知識は必要ない

森田…部活動の本質を考えた場合、私は顧問にその種目や活動の専門知識は必要ないと考えています。一方で、部活動に無関心で、倉庫の鍵を開けたり、ハンコだけを押ししているような先生では悲しいのですが、生徒と一緒に取り組み、共に悩んだり考えたり、喜びを分かち合う関係で良いのではないのでしょうか。

特にスポーツは勝ち負けのある世界なの

で、どうしても「勝ちたい（優勝したい）」とか「記録を更新したい」という欲望を抱くと思いますし、文化部にもコンクールや大会があるので、「勝利至上主義」のような状態になるのは、わからなくもないのですが、そのあたりのバランス（統制）は顧問がしっかりとコントロールするべきです。

学校教育という枠の中で生徒は勉強に取り組んで、部活動もやって…という慌ただしい日常生活を送っていますが、そこに充てられる時間や関わり方も含めて、大人（指導者）が設定をしてあげないと、テレビゲームと一緒に、子どもたちはいつの間にか部活動に熱中してしまうんですね。どんどん欲望がエスカレートしてしまい、勉強と部活動のバランスが崩れてしまうことになるので、そこは顧問や指導者など、誰かしらの大人がプレーキ役になり、コントロールし

なくてはいけないと思います。

一方で、部活動の「外部指導員」や「地域移行」という話題を耳にすることが多くなり、特にスポーツを中心に地域移行が進められていますが、学校とは完全に切り離れた形で、いわゆる「青少年期のスポーツ・文化活動」が行われていくとすると、必然的に「外部指導員」という言葉（ニーズ）は薄れていくと思います。どこかしらの施設で活動が行われる際、その指導者が学校の先生の場合もあるし、会社員の方が務めることもあるなど、いろいろなパターンがある。既に地域の中で活動が続けられているものに高校生や中学生が入っていくのか、または新しいものを校外で立ち上げるのか、様々なパターンがあると思いますが、いずれにせよ、国としては「部活動」を学校から切り離していきたいようです。ゆくゆくは「部活動



は学校教育の一環です」という言い回しもなくなるでしょうし、「部活動の地域移行」に関する資料や記述などに目を通すと、地域の中での取り組みに舵を切っているかと思えます。それぞれの地域や学校

に事情があり、一朝一夕に移行がスムーズに進むとは考えにくいですが、段々と部活動は学校単位の活動ではなくなっていくことは明白です。種目によっては、所属生徒数や公立校と私立校の違いをはじめ、地理的な条件などの様々な課題から学校単位の活動が続くケースも十分にあると思いますが、学校が管轄しないクラブチームが大会にエントリーし、他校と試合をするなど、参加する主体や範囲などを主催者が定義しなくてはいけない時代に来ていると思います。

また、大会においては、複数の土俵（リーグや部門）があつて、出場者が選択できるようにすると良いですね。特に高等学校の部活動は、1つの大会やトーナメントしかなく、そこに環境や背景などが異なるいろいろな学校が集まって、1位を決めています。当の子どもたちは「もつと試合をやりたい」「いろんなチームと対戦したい」と思っているはずですが、

私は大学で教鞭を執っているのでよくわかるのですが、特に関東や関西の大学の部活動にはリーグ制を敷いているものが多く、自分たちのレベルに応じて、出場できるんです。そのため、とんでもないレベルの異なるチームと試合をすることはないので、高校までは「発勝負の場合が少なくなく、場合によってはレベルに大差のあるチームと組み合わせになることもありえます。あつという間に負けてしまい、「はい、終わりです」ということになってしまいがちです。公式戦をはじめとする非日常的な体験というのは、あくまでも可能な範囲で話ですが、我々大人が多様な形を整備してあげることが必要ではないのでしょうか。

部活動の真髄は自分を知ること

森田…部活動の存在意義や大切な理由として、「自分で判断し、自分のスタイルを磨くことができる場である」という点が大きいて考えています。普段の練習メニューの組み立てや試合での戦い方（戦術構築）、相手はどんなことをやっているのか（他者・チーム分析）などを生徒自身が考えるのが大切であり、自分を中心にいろいろな部分に注意（意識）を張り巡らせることで、それが成長につながるなど、「自分を知る」という意味で、部活動は大切な取り組みです。一方で、運動部も文化部も「協調性」や「ワンチーム」ということが叫ばれていますが、それらは「枝葉」の話であり、まずは「自分づくり」というのが最初に来るべきだと思います。

軽音楽部の顧問について

森田…私は運動部出身の人間なので、軽音楽部の専門家ではありませんが、一般論として、学校の先生方は部活動において「教育」という部分に力が入りすぎているのではないかな…と考えています。もちろん学校の中で行われている活動ではあるのでやむを得ないことも理解しますが、課外活動ですので、あまり「教育、教育…」とか「人間づくり（人格形成）」というのを掲げる必要はなく、純粹に音楽を奏でたり、気の合う仲間と音を合わせたりの楽しさが感じられる場所を作って欲しいですね。

インタビュー・三谷佳之

優勝校顧問に聞く

オリジナル曲の制作を主眼に置きつつ、各々の部員が活躍できる場を設ける部活動運営

生徒の意見や多様性を
尊重した活動

又川寛生

神奈川県立相模原高等学校 軽音楽部 顧問

●「第4回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会」でのグランプリ受賞、おめでとうございます。受賞した「せんとらる」は、どんなバンドですか…

又川「男女6名の混合バンドで、ボーカル、ギター（2名）、ベース、ドラム、キーボードで構成されています。それぞれが親しんできた音楽ジャンルが多岐にわたっており、ジャズが好きな子がいれば、パンクやロックなどの激しい音楽が好きな子もいて、一方でポップスを好んで聴いている子もいるなど、バラバラです。

先日の大会では「NONSENSE」というオリジナル曲でエントリーしましたが、他にもオリジナル曲を多数制作しており、主にベースの城平波音君と、先日の大会で「ベスト・ギタリスト賞」をいただいた牧達也君が楽曲の骨子やアイデアを作ってきてくれて、メンバーで試行錯誤しながら楽曲制作に励んでいます。

●又川先生の現任校への着任時期や軽音楽部の顧問歴は…

2回ほど「OB／OGライブ」を開催しています。その日限りのバンドを有志のメンバーで組んで、演奏を披露してもらっているんです。現役部員が卒業生の演奏に刺激を受けたり、世代の壁を越えた交流の場を設けるようにしています。

また、夏休み中などの活動に余裕のある時に限りますが、1年生と2年生で混合のバンドを組んでみるなど、「縦のつながり」の強化して、コミュニケーションを良くする取り組みも行ったことがあります。

●部活動を運営する際の方針や目指しているものは…

又川「毎年、夏と秋の県大会への出場を目指して頑張っているのですが、「オリジナル曲の制作」を主眼に置いています。大会で入賞を目指したり、勝ち抜いていくにはオリジナル曲で挑む必要があります。高校生だから作れる歌詞やメロディがあると思うので、積極的に取り組んでいます。

他には、できるだけいろいろな方たちに軽音楽部の演奏を聴いていただくことが大切だと考えており、校内外で演奏を披露できる機会を設けるようにしています。

軽音楽部の幹部構成ですが、いつも顧問と新3年生と一緒に考えています。部長を1人、副部長を2人指名しているほか、校内外でのライブの取りまとめを行う係や日頃の練習スケジュールを組む係などがあります。ちょうど今の時期が世代交代のタイミングで、ここから先は新2年生が中心となつて部を引っ張っていく感じです。

●生徒指導の面で心がけていることは…

又川「私が本校に着任したのは3年前：2021年度です。今年で4年目になります。軽音楽部の顧問としては前任校で5年間、顧問を務めていたので、歴としては9年目です。

私も高校時代に軽音楽部に所属しており、ギターを弾いていました。大学生の頃にDJを少しやっていたほか、この仕事に就いてからはベースを触ってみたり、前任校ではダンス部の顧問も務めるなど、幅広く手を付けてきた感じです（笑）。

●部員数やバンド数、部費などは…

又川「部員数は3年生と2年生を合わせて、54名です（取材時）。今年度の1年生は20名くらいが入部してくれそうなので、3学年を合わせると、74名になります。バンド数は2年生と3年生で15バンドが活動しており、インストラクターとして、本校の卒業生が定期的に練習を見に来てくれています。

年間予算は学校からの活動費として、約13万円をいただいているほか、部員か

又川「どの部員たちもオリジナル曲を作ること目標に励んでいるのですが、出来上がった楽曲を根本的に変えるようなことはしないようにしています。基本的には、彼らが作ったオリジナル曲を尊重したいと考えていて…。その中で「ここはアレンジができそうだな」とか「もうちょっと聴きやすいようにしたら、どう？」という風に気が付くことがあるので、そういったアレンジをどのくらいの期間でできそうかを考えた上で、顧問の意見を伝えるようにしています。

指導したタイミングが悪かったせいで、かえって彼らを混乱させてはいけなないので、次回の練習で直せるものなのか、1ヶ月〜2ヶ月ほどの期間をかけて、徐々に変えていけば良いことなのかを意識して指導しています。

●貴校の軽音楽部を言葉で表すと、どんな部活動ですか…

又川「使い古された言葉かもしれませんが、「多様性」だと思います。先ほど「夏と秋の大会出場を目指して…」という話をしましたが、当然ながら、「いろいろなバンドのコピー曲を演奏したい」「文化祭で活躍したい」という部員もいるので、そういった子たちの気持ちも尊重するなど、大会への出場を目指して頑張っているバンド以外が活躍する場も大切にしていきたいと考えています。同じ部活動の中でも、いろいろなバンドが切磋琢磨し、共存しているところが軽音楽部の面白いところではないでしょうか。

インタビュー／文・三谷暢之



らも年間で1万円を徴収しています。備品をはじめ、アンプやシンバルといった楽器や消耗品を購入する際の資金に充てている感じです。

活動場所としてはドラムを叩いたり、アンプの大きな音を出せる場所が3か所あり、そこで各バンドが練習しています。どのバンドも1時間ずつ：放課後に2コマ〜3コマのスケジュールを組むことができるので、最大で毎日9バンドが練習可能です。3つの活動場所のうち、2か所は楽器や機材が常設されており、1か所は都度、セッティングしています。また、本校には他校をお呼びして、合同演奏会を行えるスペースもあるので、練習できる環境としては十分すぎるくらいだと思います。

●活動内容と年間を通した行事は…

又川「普段はバンド単位の活動が中心で、月曜日〜土曜日（午前中）の週6日が活動日です。3つのスタジオで、各バンドがローテーションを組んで練習しています。

スタジオ練習が入っていない部員は個人練習をしたり、オリジナル曲づくりを進めたり、中には帰宅する部員もいたり…と、各々が好きな時間を過ごしています。

本校は3年生の引退が早く、毎年5月に「ファイナルライブ」という3年生の引退の場があります。他にも、7月〜8月に神奈川県立相模原高等学校軽音楽コンテストへの出場をはじめ、9月に文化祭が行われるほか、11月にも神奈川県立相模原高等学校軽音楽コンクールがあります。反対に、1月〜3月は高校入試や学年末試験があるため、あまり積極的に活動できないところがあります。

また、年間を通じてになりますが、月に一度くらいのペースで、他校さんの軽音楽部をお招きして「合同演奏会」を本校主催で実施しています。

●貴校ならではのユニークな活動は…

又川「ウチならではの…というのは、なかなかないのですが（苦笑）、本校のOBやOGは、卒業後も音楽や楽器の演奏を続けている子たちが多いので、年に1回く

軽音楽部にもマネージメントの発想を：①運営&活動の方向性

軽音楽部という部活動は現在最も人気のある部活動の一つですが、その歴史はまだ浅く、運営や練習方法、機材や環境整備などのノウハウも少ないため、多くの顧問の先生方が悩まれています。抱えている問題は各校で違うと思いますが、全国の軽音楽部の活動を参考に「運営&活動の手引き」として4回に渡ってまとめていきたいと思います。

軽音楽部の「前提」

軽音楽部のマネージメントは、部員である生徒のこと、練習場や機材のこと、外部とのつながり：といった項目に大きく分けられると思います。昨今は顧問の働き方改革も進み、部活動への関わり方や役割も変化してきているため、直接的な関わりはなるべく生活指導にとどめ、対学校、対外部とのリレーションをメインとすることが理想とされます。

部活動の役割は、教育の一環であり、軽音楽という文化芸術を通して教科学習では学べないことを経験し、身につけて

もらうことです。原点に立ち返れば、部員へのマネージメントは「人間教育」、機材は「コスパ」、活動は「経験からの学び」が前提となります。

一方で、部活動の活躍が学校の広報となることもあるため、高校生らしくない言動は控える必要があります。常に学校の名前を背負っていることも、忘れてはいけない前提の一つです。

「軽音楽」と「軽音楽部」

軽音楽部は、表面上は楽器演奏やバンドでの合奏といった音楽の追求、ライブでの発表などが目的ですが、その裏では部活動としてチームワーク（集団行動、作業）や、他者とのコミュニケーション（意思疎通や交流）を学び、加えてクリエイティブティ（創造性）やエンターテインメント（表現力）を育むことが目的にあります。運動部と文化部、両方の効能を持つところが軽音楽部が近年注目されてきている理由だと感じます。

しかし、軽音楽部という部活動を成立

優先する、合宿を行う：など、どれも部活動だからこそできる対策です。

環境、機材のマネージメント

練習場に関して相談が多いのが、やはり音量問題です。なんとか音楽室や視聴覚室などの防音設備が整った部屋を週に何日かでも確保できると良いのですが、音量問題に苦慮されている先生方も多いと思います。しかし、電気／電子楽器や機材がほとんどな軽音楽部では、音量問

題は唯一のアコースティック楽器でしかも打楽器であるドラムの音量問題と同義語だともいえます。策としては、タオルなどでガチガチに音をミュートしたり電子ドラムを導入するといった方法も考えられますが、ライブ本番などで突然本来の姿のアコースティックドラムを叩いた時に、感覚が普段と違いすぎていつものプレイができなくなってしまう危険性があります。

機材に関しては、備品として何が必要なのか、どの程度のクオリティが必要なのか、どこで買うのがベストなのか、修

させるためには、ポピュラーミュージック（軽音楽）と少し切り離して考えるべきです。いかに肯定的なイメージがあつたとしても、音楽業界は商売であり、どんなに芸術性や自己表現を謳っていても「売る」ことが根底にあります。部活動とは目的が違います。

軽音楽部は、関連学校への進学やプロを目指すなど、卒業後の進路を見据えて活動している人は少なく、高校入学と同時に楽器を始める部員がほとんどという、いわばシロウト集団な部活動です。技術や知識を1から身につけなくてはならないのに、長い年月から培われた現場のノウハウもなく、音楽経験のある顧問も少ない、指導員やコーチのシステムも充実していない：といった状況では、顧問の皆さんが何をどうすれば良いのかわからないのも当然です。しかし、だからこそきちんと軽音楽と軽音楽部をセパレートして、軽音楽部を軽音楽を通して学びの場とすることが大事なのです。

部員のマネージメント

理はどうするのか：など、バンド経験や楽器経験がなければ悩ましい問題となります。共用備品の範囲が曖昧で選択肢が多いことも原因ですが、実は「部活動で使うならこれがスタンダード」というものはあります。機材は日進月歩なので数年経つとオススメも変わるかもしれませんが、コスパが良くて操作が難しくない、大会でよく使用されているものを選択しておくが良いでしょう。

また、機材の保管や管理についても問題となつている学校も多いのではないのでしょうか。前述したように電気を使う楽器や機材がほとんどなことに加え、近年ではデジタル機器も多くなっているのので、どんな状況でも湿気や温度、ほこりには細心の注意が必要です。

活動のマネージメント

顧問が行う外部向けのマネージメントとは、機材の購入、演奏を発表する場を作る、大会や講習会に参加するなど、学外の人や団体との関わりのことです。中でも、発表の場を作ることは軽音楽部にとって重要で、文化祭や発表会などの校内で行うものから、他校へ出向いての合同演奏会、大会や各種クリニックなどへの参加が考えられます。

学校との交渉ごとや金銭の管理、外部との直接的なやり取りなどをどこまで部員に任せるのかは、学校や顧問の先生の方針によっても違うと思いますが、演奏発表の機会は社会を学ぶ様々な機会となります。校内で行う部主催のライブで

軽音楽部は、バンドが集まってできているわけではありません。軽音楽部という部活動に入部している部員がバンドというチームに分かれているのです。ここは似て非なる考え方でとても重要です。前者はバンド活動が行動の基盤となり、マネージメントを間違えると部への帰属意識が薄れていく懸念があります。学校があつて初めて部活動に所属でき、その中でバンドを組んでいるのだという意識が部員には必要です。

部員の退部や休みが多くなる原因の多くは、メンバー間のトラブルなどの人間関係だと思っています。学びの場としてはなんとか自分でクリアして欲しい気持ちもありますが、チームでクリエイティブなことをしているとぶつかることが多くなるのも必然です。それは社会に出てからも必ず起こることですが、バンドが部活動とイコールになっていると、部活動への参加も疎ましくなるでしょう。

全国の学校では、部へのエンゲージメントのために様々な方策がとられていますが。バンドを学期ごとや演奏会ごとに組み直すフリーバンド制にしたり、普段から複数のパートをやらせておいたり：。他にも、反省&報告ノートを定期的に提出させる、部長／副部长などの役員以外にいくつも係を作つて割り振る、採めごとが起こった時に本人同士で解決できる対応策を決めておく、保護者への理解を

は、音響や照明、スケジューリングなどをはじめ、部が丸となつてイベント制作をする組織力が育まれ、他校を招いての合同演奏会ではホスト校として来校者への配慮や気配りを学ぶきっかけとなります。また、発表の場を作ることは生徒のためだけではなく、学校へのインナーブランディングとしても重要です。文化祭でのライブや部主催の演奏会は、軽音楽部の存在を校内や保護者にアピールする大きなチャンスともなります。

県によつては高文連の軽音楽専門部が設置されていたり、軽音楽連盟が組織され、主催する大会では普段会わない他校の生徒の演奏に触れ、見聞を広め音楽仲間を増やすことができます。また、発表の場を演奏会や大会以外にも求めている学校も少なくありません。最も多いのが、自治体や商店街のお祭りイベントへの参加、高齢者施設や介護施設などでの演奏です。行政や地域との関わりも社会とのつながりを知る機会です。

他にも、各種講習会やクリニックへの参加、合宿の開催、他県への遠征、民間主催の大会への参加：など、普段の部活動から伸展させられることはたくさんあります。働き方改革との折り合いをつけながら行わなくてはなりませんが、部員に高校時代にしか経験できないこと、部活動だからできる経験をさせてあげることで、最も大事なマネージメントなのではないでしょうか。次号からは各マネージメントを細かく考えてみます。



審査員長が語る

部活動の大会としての審査基準

④「パフォーマンス」

軽音楽部の大会における審査項目を4回に渡って考察してきましたが、最終回の今回は「パフォーマンス」について考えてみたいと思います。大会では、表現力や見た目など、ステージの視覚的な部分も審査対象になっていることがほとんどです。審査のポイントはどんなところにあるのでしょうか。

パフォーマンスとは何を指すのか

審査や採点で、パフォーマンスに関することは最も困ってしまう部分の1つです。その理由は、まず音楽に視覚的要素はそもそも関係ないという点です。純粹に音楽だけで競うのであれば、パフォーマンスに関する項目は必要ありません。しかし、それではライブ形式で評価している意味は薄くなります。

そして、パフォーマンス、ステージング、ステージパフォーマンス、ライブパフォーマンス…など、似たような言葉はよく聞きますが、一般論は置いておいたとして、大会での「パフォーマンス」とはいったい何を指しているのが明確ではないことも理由に挙げられます。実際の大会では、淡々とステージ上で演奏するバンドから、どれ

だけ練習したのだろうかと思うほど二糸乱れぬ動きを見せてくれるバンドや、衣装や小道具などに凝るバンドなど千差万別です。さらに言えば、じつくりと歌詞を聴かせたいバラード系の楽曲とイケイケのパーティーソングでは見せ方も違うでしょう。とても1つの基準で相対評価の採点をした

パフォーマンスの比重

現代のポピュラーミュージックである「ロック」という音楽はエンターテインメントでもあり、視覚的な要素も表現の重要なピースとなっています。問題は、大会ごとに視覚的演出への評価が占めるウエイトが違っていたり、審査員によって評価の基準がバラバラなこと。審査員の感性の違いは多様性の担保にもつながりますが、審査に統一性を感じない要因ともなります。受験と同じで良い評価を得たいのであれば、その大会やコンテストの評価傾向を下調べして対策を練るしかありません。

よく、派手なパフォーマンスをしたバンドが上位入賞すると、あのぐらいいしな

的に審査員は、パフォーマンスの量や派手さ、アイデアなどではなく、チームとして一体感のある表現になっているかを見ています。例えば、動きの少ないステージングであっても、メンバー全員が1つになっていると感じることができれば評価は高くなるでしょう。



完成度の1つ

大会やコンテストで、出演者はどれだけ観客を楽しませるべきなのか…。個人的には、文化祭やコンサートではないのでその辺を過度に求めたことはありません。観客や審査員を無視したような演奏は評価が低くなってしまうと思いますが、必要以上のパフォーマンスは演奏に支障が出る可能性もあるのであまりお勧めはしません。

踊ったり走り回ったりすることを否定するつもりはありませんが、ステージパ

フォーマンスとは、顔の表情や身振り手振り、リズムに体が乗っている演奏、メンバー同士のアイコンタクト…なども含まれます。大会におけるパフォーマンス項目は「表現力」と同義語で、楽曲や演奏をより良く聴かせたり伝えるための手段です。音楽、合奏、楽曲の完成度の1つとして捉えてみて欲しいと思います。

文・辻伸介

軽音楽部の指導に困っている顧問必見！ 誰でもできるバンド指導のポイント！

アンサンブルが良くなる指導方法

④ 演奏をまとめていくポイント

全6回に渡って、バンドアンサンブルの指導のヒントを解説していきます。今回は、バンド練習を行う上でどんなことに気をつけていけば良いのか…を中心に、専門的な音楽指導や技術指導ではない部分に着目していきたいと思います。

1 アウトラインからディテールへ

作品をまとめあげるといふ点では、音楽と美術は似ています。絵を描く時は、まずキャンバスに大まかにアタリを取って構成を練っていきます。先に細かい部分を書き込みすぎると後で修正しづらくなるからです。合奏をまとめていく場合も、個々のフレーズや細かい部分の精度を上げるよりも、メンバー全員が楽曲の大まかな全体像を捉えていくことが先です。

特にオリジナル曲を作る場合は、お手本のない完成形に向かって1から作っていくわけですから、まずはこの楽曲にはどんなメッセージを込め、それをどんな曲調で聴かせるのかという「楽曲の下絵作成」を全員で行うことが大事です。一方、既存曲をコピーする場合は、やるが決まっているため、メンバーそれぞれが自分のプレイに固執してしまい、合奏への意識が薄

くなりがちです。楽曲構成、テンポ、キー、歌詞、コード進行、基本のリズム、メッセー

どんな楽曲もたぐさんの小さなピースからできていますが、最終的には楽曲を構成するすべてのピースが同じ世界観の中にいることが理想です。個々から全体へとという流れよりも、外枠（アウトライン）から詳細（ディテール）へと進めていくことで、ブレが少なく、ゴールを見据えた練習になっていきます。

2 聴く側の立場になつてみる

絵を描いている時には、よくキャンバスから少し離れて眺めてみます。良いところ悪いところを含め、かぶりついて描いていた時にはわからなかったことに気づけるからです。飾られている絵を見る「観客の視点」で眺めてみるという行為は、物作りの大事な工程です。

楽曲をまとめていく作業でも、何度も録音・録画をして客観的に確認したり、バンド同士でお互いに批評し合うことが有効です。聴いた人がどう思うか、どう

聴かせたいかを常に気にすることで、何か方向性に悩んだ時の指標となります。もちろん、正解は1つではないので意見が分かれたりなかなか答えが見つからないこともあると思います。しかし、トライ＆エラーを繰り返して、よりベターなもの（ベストでなくても良い）をチームで探究していくことが、演奏がまとまっていく唯一の方法です。

いつも、もっと良い演奏になるためにはどうしたら良いかと、メンバー間でアイデアを出し合っている状態が理想です。

3 各々の役割を意識する

オリジナル曲であってもコピー曲であっても、それぞれのパートがどんな役割なのかを意識することが大事です。基本的にはボーカルが楽曲の主役であり、すべてにおいてボーカルが活かされているかがポイントです。各パートがそれ以前提に自分、あるいは他パートの役割と責任を把握していくことが、アンサンブルをまとめるための大きなステップとなります。



曲調やバンドのキャラクターにもよりますが、一般的に打楽器であるドラムはテンポやダイナミクスの司令塔であり、ギターやキーボードは和音と音色による色付け、歌詞やメロディのサポートや色付けを担い、ベースはドラムと和音楽器をつなぐ接着剤としてリズムや和音構成などに貢献します。

出るところは出る、出ないところは出ない。メンバー全員がアレンジ上の役割を理解して押し引きのあるプレイができていることが、良い合奏の基本です。バンドは「共同作業」ですから、大切なのは1にも2にもチームワークです。

文・辻伸介

写真で見る

軽音協の活動ブログ

6月

全国学校軽音楽部協会（軽音協）の日々の活動の一部を写真で紹介していきます。各種 SNS もやっておりますので、よかったらアクセスしてください。

K アリーナ横浜

横浜ライブエンターテインメント協議会の総会に参加した際、2万人収容のKアリーナ横浜のバックヤードを見学させていただきました。音楽やエンタメ業界にもっと若者を取り込みたい…と多くの方と意見交換できました

音響塾を開講

楽器の演奏技術を向上させる講習会は数あれど、音響に関する知識をプロが基本から教える例はあまりなく、ないなら作りましょう…と音響塾を開講。高校生や大学生から顧問の先生まで参加。会場は熱気ムンムンでした

参議院議員会館

今春の関東大会のグランプリを受賞した相模原高校軽音楽部のせんとらと顧問の又川先生と、同大会を軽音協とダブル主催する公益財団法人かけはし芸術文化振興財団の山東昭子理事長を参議院議員会館まで表敬訪問

休日の国会議事堂

山東理事長の紹介で国会議事堂を見学。平日は衆参合わせて、毎日4,000人近くが見学に来るらしいですが、休日は議員の紹介がないと入館できないのでスッカスカの貸切状態。テレビで見る議会の傍聴席からパチリ

新幹線開通後の金沢駅

昨年、白山市白峰のお寺での演奏会を契機に、石川県金沢市には度々お邪魔しています。新幹線が開通してからはほんとに近くなり、東京から約2時間半。金沢駅から白峰は1時間半かかり、相変わらず遠いです…苦笑

お寺のお堂で演奏会

昨年に続き、今夏も石川県白山市白峰にある林西寺のお堂で、石川県周辺の高校の軽音楽部が集まり、演奏会を開きます。地元の民謡保存会とのコラボ演奏もあり、林業体験や薬縄づくりもあり。参加希望は軽音協まで…

NPO法人全国学校軽音楽部協会

大学軽音楽連盟

令和6年6月9日 設立

大学軽音楽連盟
大学の軽音楽部や音楽系サークルの交流を図る「大学軽音楽連盟（通称、大学軽音連）」を発足。各都道府県に支部を置き、NPO 法人全国学校軽音楽部協会の下部組織として、大学生自身による組織運営を目指します

未常識で、新しい部活動を目指す

時代がどんどん進化する中で、新しいことに挑戦しない、変化しないことは時代とのギャップを生み、時流に乗り遅れることを意味します。新しいことに挑戦するのには失敗はつきもの。建設的な失敗を繰り返して、時代や周囲の変化に取り残されないように努めることを意味します。

「強い種が生き残るのではない、変化に対応した種が生き残るのだ」というダーウィンの法則が思い起こされます。そのことは軽音楽部に関しても同じことが言えると思います。昭和時代の軽音楽部では、バンド＝不良というイメージがありましたが、時代が変わり、世代が変わり、音楽が変わることで部活動の質が変わり、今や軽音楽部は高文連に専門部がある県

文化活動としての新しい取り組み

元々は校外で行われていたバンド活動が、高等学校の部活動の1つとして認められて、軽音楽部が生まれたわけですが、バンド活動である段階の時は演奏がうまいとか、オリジナル楽曲がかっこ良いという視点で評価されてきたことが、そろそろ次の段階に進む時期が来たのではないかと感じています。協会が主催する軽音楽部の大会でも、以前は明らかに実力の差があっ

無から有を生む、ゼロイチな活動を

最近では正解のない、または正解が1つではない時代とも言われています。確かに多様化社会においては何が正解かを規定することは難しく、そのような社会で生き抜く若者を指導することは、それこそ正解のない時代となりました。しかし、そんな時代の教育プランだったSTEM

文：三谷佳之（本誌編集長／協会理事長）

教育に芸術（アート）のAが追加され、STEAM教育になったことはテクノロジーなどの左脳だけでなく、音楽芸術の右脳思考を加えることで創造的な発想力を培うことを強く意識しているのではないのでしょうか。そういう意味で、軽音楽部におけるオリジナル曲の制作は無から有を生む、まさにゼロイチで創造的な活動の真骨頂であり、次代の教育プランとドンピシャではないでしょうか。授業と違った部活動で文化教養的なものを学ぶことは、教科書という枠組みの中で受動的に「教わる」行為から、好きな軽音楽部の部活動の中に能動的に「学ぶ」行為への広がりを見せます。そういう背景の中で、これからの軽音楽部：シン・軽音楽部でできる生徒の支援とは何か：今後の本稿において考えていきたいと思います。

軽音楽部 3.0

これまでになく

な部活動を目指して：

たので順位をつけることは比較的容易でしたが、ここ数年は僅差で順位が決まることが多くなりました。音楽や芸術の感じ方は人それぞれであり、元来優秀のつけられないものに点数をつけて、順位づけをすることに一抹のナンセンスを感じています。

多く軽音楽部では、楽器の演奏がうまくなることに意識が向いており、古今東西のミュージシャンの一般知識や音楽理論、楽器や音響機材の知識などの文化、教養面が置き去りになっているような印象を受けます。部活動としての軽音楽部が目指すべきところは、1つは全国のどの高校にも軽音楽部が設置されること（現在は約5000校の4割、約2000校に存在）、2つは勝利至上主義ではない活動の展開ではないかと考えます。これは車の運転に近いのではないかと思います。運転技量の上手い下手はありますが、仕事やレジャーやホビーに使っている人が大半でしょう。ごく一部の人がプロのドライバーになることを考えると、軽音楽部も同じように演奏技術を競うのではなく、文化的側面の活動も視野に入れるべきではないかと思っています。



配布校リスト

全国の高等学校
2,040校の軽
音楽系部活動の
顧問あてに無料
配布しています




現在の配布校リストはQRコードからご覧いただけます

投稿記事募集

月刊軽音楽部では、部活動や軽音楽部に関する事例発表、問題提起、意見や持論、研究論文からイベントレポートなど、「部活動としての軽音楽部」の運営に携わる顧問の先生方の集合知のハブとして、投稿記事を広く募集し、誌面に反映させていきます。構想だけで文章の形になっていないとか、複数の文章はあるが全体として整理できていない場合、過去に発表した内容をブラッシュアップしたい場合、編集部がいろいろな側面でお手伝いすることもできますので、何かありましたら、お気軽にご相談ください。

投稿記事に関するお問い合わせは下記まで
Email info@keionkyo.org
TEL 045-913-0901

次号予告
※表紙はサンプルです

**次号は
7月25日(木)発行**



**アンケートに
ご協力ください**
約3分で終わる

今月の月刊軽音楽部はいかがでしたでしょうか。編集部では月刊軽音楽部の個々の記事に対するご意見、ご感想はもちろん、雑誌全般へのご要望や取り上げて欲しいテーマ、困っていることなどを広く募集しております。顧問の先生方からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております



▲アンケートフォーム
<https://forms.gle/HmWrzncPMndamJP37>

**相互講評で
レベルアップ**



相互講評でレベルアップ

身近な理解者がいる部活動はお互いに演奏をチェックし合えるまたない絶好の環境です。ぜひ演奏を見合わせて講評し合う機会を作りましょう！

リハーサルの作法



リハーサルの作法

- サウンド・チェックはなぜ行うのか？
- 良いサウンド・チェックのための作法
- 各パートのサウンド・チェックの流れ
- モニター・スピーカー調整のポイント
- 楽曲演奏時の注意点

今月の新着コンテンツ

軽音楽部とはどんな部活動なのか、毎日の練習はどんなことをするのか、軽音楽部に入るとどんなものが必要になるのか…などなど、新入部員必見の定番記事をデジタル版としてアップデートしました。QRコードにアクセスしてお読みください。

右のQRコードから記事を読むことができます



軽音楽部に関する
コンシェルジュです。
どんな事でもお気軽に
ご相談ください。



- ◎機材相談
- ◎セミナー
- ◎クリニック
- ◎講評・審査員 など

軽音楽学セミナー【GarageBandセミナー】

7/21(日) 会場：昭和音楽大学

8/5(月) 会場：名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校

軽音合同演奏会

7/14(日) 会場：舞鶴赤れんがパーク(京都府)

8/17(土)～20(火) 会場：林西寺(石川県白山市)



**第1回 高等学校軽音楽文化祭
国際大会 8/22(木)**

会場：舞鶴市総合文化会館大ホール(京都府)



**第8回
高等学校軽音楽コンテスト
近畿北陸大会**

7/31(水) 会場 舞鶴市総合文化会館 大ホール



**第10回
高等学校軽音楽コンテスト
中部大会**

8/3(土) 会場 愛三文化会館 もちのきホール



**第5回
高等学校軽音楽コンテスト
関東大会**

8/25(日) 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール



**第2回 全国高等学校軽音楽部
オリジナルソング・グランプリ**

高校生のクリエイティビティや感性を活かしたオリジナル楽曲の素晴らしさを讃える発表の場



募集開始 5/下旬
応募締切 8/31(土)



Pop & Rock Jazz

昭和音楽大学 | 昭和音楽大学短期大学部 ポップ&ロックミュージックコース / ジャズコース

Event Information 2024

オープンキャンパス

昭和音大を体感してみよう!

7/7 Sun 8/4 Sun 11/2 Sat・3 Sun 他

参加
無料

対面

受験講習会

個人レッスンで
プロの技を身につけよう!

8/31 Sat 9/21 Sat 10/26 Sat 11/17 Sun 他

●実技個人レッスン ●ポピュラー音楽理論 他

対面

オンライン

夏期講習会

受験生受講率No.1!!
夏休みにレベルアップ

8/2 Fri ~ 5 Mon ●実技個人レッスン
●ポピュラー音楽理論 ●DTM講座 他

対面

オンライン

アンサンブルセミナー

本学教員がアドバイス!! ジャムセッションを楽しもう。

個人またはバンド
単位で参加可能 9/21 Sat

参加
無料

対面

▶6月現在の情報です。日程や内容は変更となる場合がありますので、詳細や最新情報はウェブサイトをご覧ください。◀



お申込・
詳細は
ウェブで!

お問い合わせ / 入試広報室

0120-86-6606

nyushi@tosei-showa-music.ac.jp

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1



Pathways

受験対策スクール「パスウェイズ」
無料体験レッスン中!

音大受験生に対し、本学の講師陣が継続的に個人レッスンをしています。
オンラインも可能です。【対象：高校生(既卒者含む)、中学生】



★タイガー大越客員教授は年に数回、特別レッスンを行う予定です。

教員紹介

(2024年5月現在)



楽器本体から弦などの消耗品、譜面台、PA機器、各種ケーブル類まで8万点以上を取扱い中

軽音楽部を応援する サウンドハウス

※2,000円以上の注文にて

送料無料

最短即日発送

長期3年保証

cp

Classic Pro



PAスピーカー

パッシブタイプ

CSP8 ¥13,800

200W(8Ω)PGM、8"

CSP10 ¥21,800

500W(8Ω)PGM、10"

CSP12 ¥27,800

600W(8Ω)PGM、12"

パワードタイプ

CSP8P ¥26,800

出力100W、8"ウーファー

CSP10P ¥29,800

出力100W、10"ウーファー

CSP12P ¥42,800

出力300W、12"ウーファー



全国のイベントでも
活躍中の人気機種

パワーアンプ



軽量なボディながら、力強いサウンド

2ch モデル CPX600 200W(8Ω)×2 ¥34,800

CPX900 350W(8Ω)×2 ¥39,800

CPX1500 500W(8Ω)×2 ¥47,800

4ch モデル CPX4100 100W(8Ω)×4 ¥39,800

CPX4250 250W(8Ω)×2 ¥49,800

CPX4420 420W(8Ω)×2 ¥59,800

ミキサー

AM502 ¥6,580

5ch、マイク入力×1

AM602FX ¥11,800

6ch、マイク入力×2

AM802FX ¥13,800

8ch、マイク入力×4



ダイレクトボックス

CDI-1A ¥4,580

アクティブタイプ

CDI-1P ¥2,180

パッシブタイプ(1ch)

CDI-2P ¥3,980

パッシブタイプ(2ch)



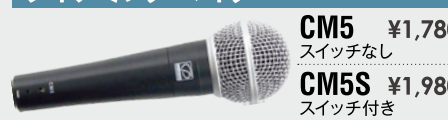
ダイナミック・マイク

CM5 ¥1,780

スイッチなし

CM5S ¥1,980

スイッチ付き



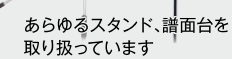
ケーブル

マイク・楽器用ケーブルなど
各種取り揃えています



譜面台・スタンド

あらゆるスタンド、譜面台を
取り扱っています



ギター弦/ベース弦

1,000種類以上をラインナップ



Super Slinky ¥780

ドラムヘッド/シンバル



REMO 114BA-JP ¥2,180



高いコストパフォーマンスと
豊富な種類が魅力、サウンド
ハウスのオリジナルブランド
PLAYTECHシンバル

国内外メーカーの定番から新商品まで取り扱い中!



サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

営業時間: 平日
10:00~17:00
休業日: 土日祝日

成田店
徳島店

TEL 0476-89-1111 FAX 0476-89-2222
TEL 0885-38-1111 FAX 0885-38-1100

※上記番号へ繋がりにくい場合はコチラの番号へおかけください ▶ナビダイヤル ☎ 0570-028888

原則として商品到着から14日以内の返品・交換を承ります。ご不明な点は事前にお問い合わせの上、ご注文ください。
掲載価格は2024年6月現在の税込価格です。最新の価格・返品等についての詳細はWEBサイトにて確認下さい。

www.soundhouse.co.jp





RECORDING
ENGINEER

ACOUSTIC MEDIA DEPT.

CONCERT
STAFF

CONCERT EVENT DEPT.

2025年度 八王子校に
ダンスパフォーマンス科新設!

It all begins here!

DANCER

DANCE PERFORMANCE DEPT.

MUSICIAN

VOCALIST

MUSIC ARTIST DEPT.

コンサート・イベント科 職業実践専門課程

- コンサート制作コース ●コンサートPAコース
- コンサート照明コース ●コンサート舞台コース
- イベント企画コース

ミュージックアーティスト科 職業実践専門課程

- サウンドクリエイターコース ●ヴォーカリストコース
- プレイヤーコース

音響芸術科 職業実践専門課程

- レコーディングエンジニア専攻 ●MAエンジニア専攻
- ラジオスタッフ専攻

ダンスパフォーマンス科 職業実践専門課程(旧田校のみ)

- プロダンサー専攻 ●バックダンサー専攻
- ダンス&ヴォーカル専攻 ●コレオグラファー(振付)専攻
- ダンスインストラクター専攻 ●テーマパークダンサー専攻

※2025年度 八王子校新設

日本工学院 ミュージックカレッジ

日本工学院専門学校

日本工学院八王子専門学校

☎0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

☎0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1

<https://www.neec.ac.jp/>

LINE @nihonkougakuin

X @neec_official

@nihonkogakuin

総合型選抜
(AO入学)
エントリー
受付中!



宅録
(プレイヤー目線)

**プレイヤーにも宅録
環境が必須の時代!**



日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校

ー「宅録」という言葉を耳にしますが、どんな作業が「宅録」と呼ばれているのですか?

まずは言葉のとおり、「自宅で録音をする」という意味を指します。例えば、ボーカルをマイクで録音したり、ギターやベース、キーボードといったシールド・ケーブルを使用する楽器を自宅で録音することができます。

他には「作曲するためにPC (DTMソフト)を使用する」といった意味も指します。オリジナル曲のデモ音源を制作するために、MIDI キーボードで打ち込みをしたり、ギターや仮歌 (ガイドメロディなど) を録音したりすることを総称して「宅録」と言います。

ー 宅録を行いたい場合、どんな機材が必要ですか? 初心者におすすめのものを教えてください

必須となる機材は、PC (DTMソフト)、HDD (500GB 以上がおすすめ)、オーディオ・インターフェイス、ヘッドフォンです。より快適な環境を求める場合は、モニター・スピーカーも必要です。作曲をしたい方は MIDI キーボードがあると良いと思います。

また、プレイヤーは楽器とシールド・ケーブル、ボーカルは録音用のマイクとケーブルが必要です。「コンデンサー・マイク」という性能の良いマイクもありますが、1 万円程度の「ダイナミック・マイク」でも問題はありません。他には「ポップガード (ウインドスクリーン)」というブレス音 (息の音) がマイクに入らないようにするアイテムも揃えておけると良いですね。

ー プレイヤーも宅録の環境が必須の時代だと思いますが、どんなことが求められていますか? 宅録の技術は必須でしょうか?

これまで、レコーディング作業はレコーディング・スタジオで行われることが主流でした

が、昨今の技術力の向上により、プロの現場でも宅録で録音したギターやベースの音をそのまま音源としてリリースする…というケースが多くなっています。宅録をスムーズに行えるように最低限の DTM ソフトの操作方法や EQ、コンプレッサーといった基本的なエフェクトの使い方は理解しておくべきでしょう。

ー 作曲や作詞に行き詰まってしまった場合は、どうすれば良いでしょうか? (先生は) どんな気分転換や解決策を行なっていますか?

行き詰まった時は無理をして続きを作っても納得することはないので、一旦作業を中断しましょう! 1 日経ってから改めて聴くと、それまで気づけなかった部分が見えてきたり、新しいアイデアが出てきたりするので、一晩寝かせたりしながら、焦らずゆっくりと作ってみるのがおすすめです。

それでも続きが作れなくなった時は映画を観たり、本を読んでインスピレーションを受けるようにしてください。違うオリジナル曲を作り始めるのも良いと思います。ぜひ、制作中だった曲をボツにするのではなく、いつか日の目を見るその時まで、大切に保存してあげてください。

ー 日本工学院専門学校の「サウンドクリエイターコース」では、どんな授業が行われているのですか? 身につけられるスキルも教えてください

メロディの作り方やコード進行の作り方と分析方法、編曲 (アレンジ)、ミックスなどの授業が行われています。また、「作曲ゼミ」という授業では、自分が作りたいジャンルのオリジナル楽曲をマンツーマンで先生に添削してもらっています。

2 年次 (2024 年) の卒業制作では、アルバムを作ってサブスクのライブ配信を行う実習

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、どんな世界なのでしょう。今回はプレイヤー目線から見た「宅録」について、日本工学院専門学校／ミュージックカレッジの高野先生と下條先生に伺いました。

を行っています。卒業時には、自分の作品を自分の力だけでジャケット制作からクロスフェードの制作、楽曲リリースまでをできるようにすることが目標となっています。

上記のように、楽曲制作に必要なスキルを基礎から応用まで詳しく学べるのと同時に、卒業後に、1 人で活動していくために必要なスキルも身につけることができます。

ー 将来、「サウンドクリエイター (作曲者) になりたい」と考えた場合、高校生のうちからやっておいた方が良いことはありますか?

まずは、ジャンルの好き嫌いをせずに、いろいろなジャンルやアーティストの楽曲を聴くことを習慣にすると良いと思います。人間は、インプットしたものからしかアウトプットすることができません。偏った音楽しか聴いていないと、その音楽しか作ることができないんです。いろいろな音楽のルーツを取り入れて制作すると、そこに個性が出てくるものです。まずは多くの音楽に触れること、興味を持つことがスタート地点になります。

他には、楽器の演奏ができる人は、それを続けること。可能であれば、作曲ソフト (DAW) に触れてみる…このあたりができていて、入学した時に先生の話をもっと深く理解できると思います。



▲DTMソフトやMIDIキーボードを使用して、作業を行います

エンタメ&クリエイティブの専門学校



VISUAL ARTS

東京 / 名古屋 / 大阪 / 福岡

ビジュアルアーツ・アカデミー

ACADEMY

Akademeia 21st Century



ミュージシャン
声優・俳優・タレント
ダンス・ダンスボーカル
ネットタレント・インフルエンサー
映像クリエイター (3DCG・VFX)
テレビ放送・映画スタッフ
コンサート・舞台スタッフ
レコーディングエンジニア
サウンドクリエイター
映像音響 (MAエンジニア)
写真・デザイン
マスコミ出版
芸能マネージャー
特殊メイク

※地区によって教育分野が異なります

大学も専門学校も超える新たな学びの場



21世紀アカデメイア
Akademeia 21st Century

専門学校 東京ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 東京ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 大阪ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 ビジュアルアーツ専門学校より校名変更)

専門学校 名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 名古屋ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 福岡ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 九州ビジュアルアーツより校名変更)

テレビ
映像



専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー

こだわりを持つことが 大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、どんな世界なのでしょうか。今回はテレビや映像に関する仕事について、専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミーの内藤先生に伺いました。

ーテレビや映像の仕事について教えてください

内藤：非常にたくさんの職種があるので、すべてを説明することはできないのですが、テレビを例に挙げると、番組を作る上での中心になる「制作スタッフ」という仕事があります。その中にアシスタント・ディレクターやディレクター、プロデューサー、もっと細かいところでは、リサーチャーや編集マン、MA、音響効果、放送作家といった職種が挙げられます。その制作スタッフの両脇を固めるのが、「技術スタッフ」と「美術スタッフ」です。カメラや音声、照明などが技術系の仕事で、大道具や小道具、持ち道具、メイク、衣装などが美術系の仕事になります。細かい部分の言い方の違いや、さらに細分化されるものもあると思いますが、テレビをはじめ、映画やミュージックビデオ、CMなどの「映像を制作する」という仕事で考えると、制作・技術・美術の3つに分類することができます。

ー入学する前に、ある程度のスキルや知識は必要ですか？

内藤：番組制作や技術、美術に関する仕事は、なかなか高校生のうちから体験したり、経験できる分野ではないので、特に必要なスキルや知識はありません。ただ、「高校生の間にやっておいた方が良いことはありますか？」という質問をいただくことが多いので、そこでお伝えしているのは、テレビや映画、ミュージックビデオやYouTubeなど、プロが制作した番組や作品をただ見るのではなく、様々な視点で視聴する姿勢をオススメしています。制作の裏側であったり、「どういう意図で、こういう番組構成にしているのだろうか?」「どんな手法で、こんな撮影をしているのだろうか?」という点に注目したり、気にしながら視聴するのは高校生の

うちから実践できると思います。ボーッとテレビを見ながら笑うのではなく、制作の背景を意識しながら視聴することができると、そこから新たな興味が湧いたり、意欲が高まってくるものなので、オススメです。

ーこの仕事の楽しいところや、やりがいを教えてください

内藤：1つ目は、いろいろな職種や業種の方々と仕事ができるのが、やりがいの1つに挙げられます。ミュージシャンや俳優、お笑い芸人やタレントなど、芸能界で活躍されている方をはじめ、専門家の監督が必要な番組の場合は医師や弁護士、国家公務員や大学教授など、なかなか普段は話を聞くことができなかったり、接することができない方々と仕事をすることができます。2つ目は、特にテレビの仕事に言える部分なのですが、視聴者の反応がダイレクトに伝わってくる点です。例えば、自分が担当した番組はオンエアを確認するのですが、その際にSNSで視聴者の投稿をチェックしています。テレビ番組や映像媒体というのは視聴してくれた人たちの感想をダイレクトにキャッチしやすいメディアなので、そこが仕事のやりがいにも直結すると思います。

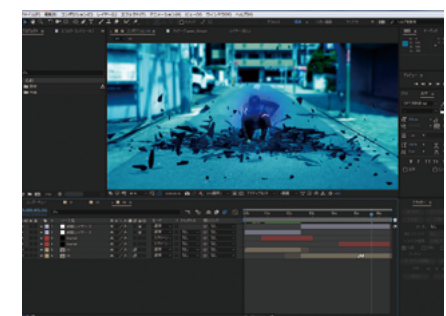
ーこの仕事の大変なところを教えてください

内藤：一概には言えない部分もあるのですが、テレビにしろ、映画や映像作品にしろ、いわゆる本番までの「仕込み」の部分が最も大切であり、大変に感じる部分だと思います。撮影の開始/終了時間をはじめ、こだわりたい部分や修正が必要など、編集にあてる時間もかかるため、いわゆる「9時に出社して、18時に退勤…」という世界ではない、勤務体制が特殊な業界です。また、特に地上波の番組は撮影や編集のタイムリミットがとてもシビアなので、

そこへのプレッシャーもあると思いますが、それらを上回るくらいに楽しくて、面白い業界です。

ーこの仕事は、どんな人にオススメですか？

内藤：好奇心が旺盛な人に向いていると思います。テレビや映画をはじめ、映像作品全般に言えることですが、「面白い」「感動した」「すごい」と視聴者が口にするなど、この業界は人々の感情に問いかけていく部分が大きい世界です。その際、新しいアイデアを盛り込んだり、切り口を変えてみるのが大切であり、これまでやってきたものを続けていくだけでは飽きられてしまうので、想像力を駆使できる人や何事にも興味や関心を持てる姿勢が重要です。また、特に映画やミュージックビデオは最新技術や表現方法を積極的に取り入れる分野なので、そういった業界の動向やトレンド、新しい技術にも目を向けていくことになります。結果的に、それが興味や関心、好奇心につながるように、どんな部分にも「こだわりを持つこと」が大切です。これが「仕事」ではなく「作業」になってしまうと、どんどん質が低下し、つまらないものになってしまう。映像制作に関わる仕事というのは、いわゆる1つの「表現者」ですので、どんな番組にしろ、作品にしろ、こだわりを持って臨む姿勢が必要だと思います。



▲撮影した映像に特殊効果を施す技術も授業で学びます